

東京商科大学東亞經濟研究所概要

同所編

330.6
To.462



0018991000

0018991-000

330.6-T0462ウ

東京商科大学東亞經濟研究所概
要

東京商科大学東亞經濟研究所

昭和17

ADA



昭和十七年五月

東京商科大学東亞經濟研究所概要

東京商科大学
東亞經濟研究所

330.6
T0.462



目次

一、東亞經濟研究所官制	一
二、東亞經濟研究所規則	二
三、機 構	四
四、研究所刊行物	七
五、研究所ニ於ケル研究会	七
六、現地囑託員ニ關スル内規	八
七、東亞經濟調査ノタメ學生生徒派遣ニ關スル内規(抄)	九
八、沿 革	九
九、職 員	一〇

發行所寄贈本

一、東亞經濟研究所官制

官立商業大學官制抄（昭和四年四月一日勅令第三十八號）

最近改正（昭和十七年二月五日勅令第七十號）
同 四月七日勅令第三百八十號

第二十二條 東京商科大学ニ東亞經濟研究所ヲ附屬セシム

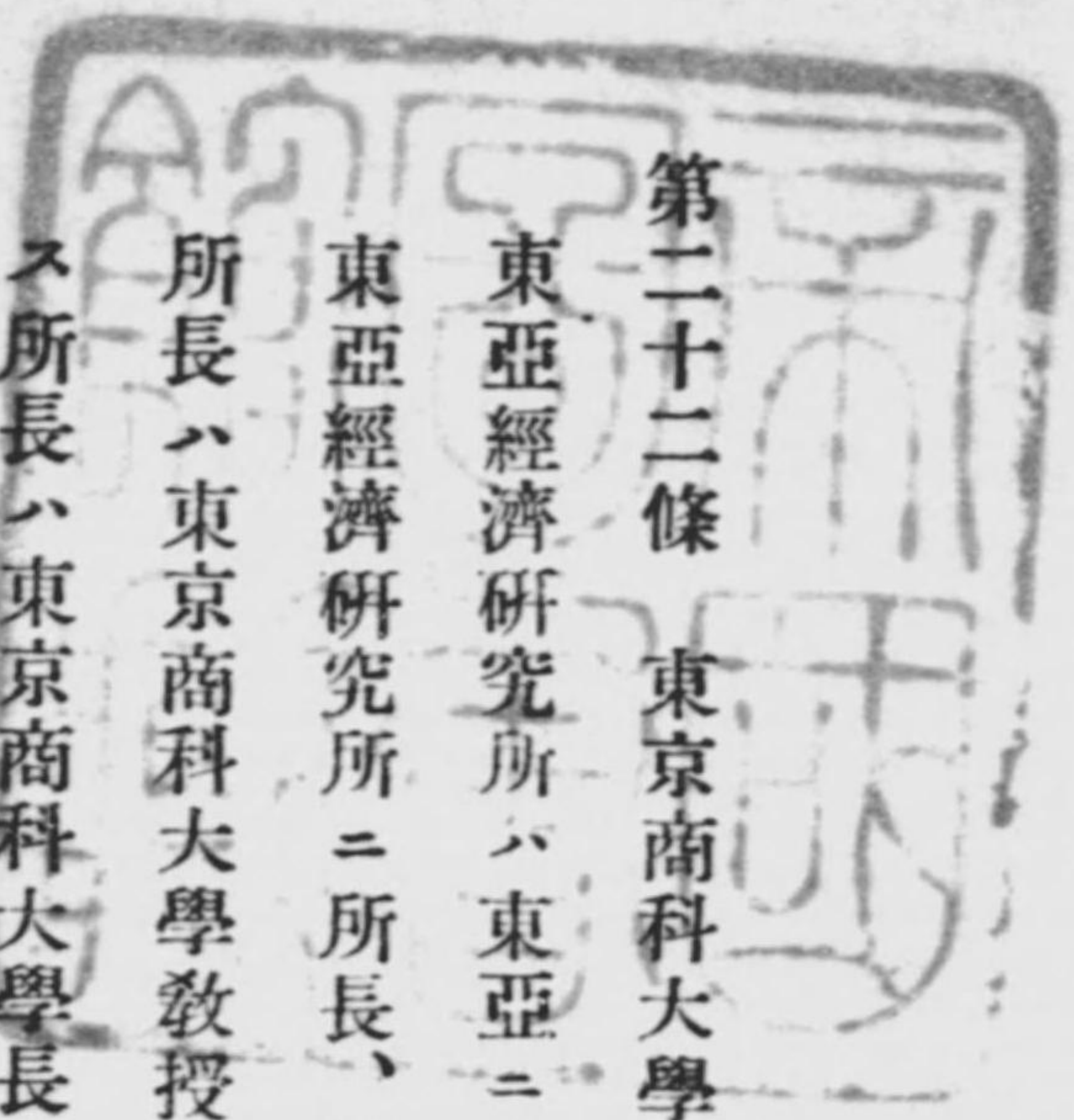
東亞經濟研究所ハ東亞ニ於ケル經濟ニ關スル綜合研究ヲ掌ル

東亞經濟研究所ニ所長、所員、助手及書記ヲ置ク

所長ハ東京商科大学教授ノ中ヨリ、所員ハ東京商科大学ノ教授又ハ助教ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補
メ所長ハ東京商科大学長ノ監督ノ下ニ於テ東亞經濟研究所ノ事務ヲ掌理シ所員ハ所長ノ監督ノ下ニ
於テ東亞經濟研究所ニ於ケル研究ヲ掌ル

東京商科大学教授ニシテ所長又ハ所員ニ補セラレタルモノ及東京商科大学助教ニシテ所員ニ補セ
ラレタルモノニハ授業ヲ擔任セシメサルコトヲ得

助手ハ東京商科大学助手ノ中ヨリ、書記ハ東京商科大学書記ノ中ヨリ東京商科大学長之ヲ補ス助手



一、東亞經濟研究所官制

ハ上司ノ指揮ヲ承ケ東亞經濟研究所ニ於ケル研究ニ從事シ書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ東亞經濟研究所ノ事務ニ従事ス

二、東亞經濟研究所規則

昭和十五年三月 四 日 制定

昭和十七年二月二十七日 改正

第一條 本所ハ東京商科大学東亞經濟研究所ト稱ス

第二條 本所ハ東亞ノ經濟ニ關スル綜合的研究ヲナスヲ以テ目的トス

第三條 本所ハ前條ノ目的ヲ達スル爲メ左ノ事業ヲ行フ

- 一 東亞ノ經濟ニ關スル調査研究
- 二 本所ノ調査研究ニ必要ナル圖書及資料等ノ蒐集、整理
- 三 東亞經濟研究年報、東亞經濟研究叢書其ノ他圖書雜誌ノ刊行
- 四 官廳、會社其ノ他ノ依頼ニ係ル調査研究、質疑應答、翻譯等
- 五 研究會、講演會、講習會、展覽會等ノ開催

六 其ノ他本所ノ目的ヲ達スルニ適當ナリト認ムル事業

第四條 本所ニ左ノ職員ヲ置ク

- 一 所長 一名
- 二 所員 若干名
- 三 研究員 若干名
- 四 事務員 若干名

第五條 所長ハ研究所ノ事業ヲ掌理シ本所ヲ代表ス

第六條 所員及研究員ハ所長ノ監督ノ下ニ調査研究ヲ行フ

第七條 本所ニ所員會ヲ置キ本所ノ事業運営ニ關スル事項ヲ審議企畫ス 所員會ノ構成並ニ運営ニ關

シテハ別ニ定ムル所ニヨル

第八條 本所ニ評議員若干名ヲ置クコトヲ得、評議員ハ本所ノ事業運営ニ關スル諮問ニ應ス

第九條 本所ニ左ノ四部ヲ置ク

- 一 研究部
- 二 統計部

三 資料部
四 庶務部

各部ニ部長ヲ置キ部長ハ所員中ヨリ所長之ヲ命ス 但シ庶務部長ハ所員タラサルコトヲ得

第十條 所長必要アリト認ムルトキハ特殊問題研究室並ニ特殊問題委員會ヲ本所内ニ設置シ東亞經濟ニ關係アル特殊問題ノ研究ヲ行ハシムルコトヲ得

第十一條 本規則ノ改正ハ所員會ニ附議スルモノトス

三、機 構

東京商科大學東亞經濟研究所ハ大東亞廣域經濟ノ科學的基礎付ケ並ニ日本の經濟諸科學ノ體系樹立ヲ目的トシ、以テ世界新秩序ノ一環トシテノ大東亞共榮圈ノ理念ニ適應スル如キ政策ノ確立ニ資セントス。

右目的達成ノタメ研究所ニ研究部、統計部、資料部及庶務部ヲ置キ、且ツ必要ニ應ジ特殊問題研究室及特殊問題委員會ヲ設ク。

一、研 究 部

研究部ハ先ヅ東亞重要諸產業並ニソノ人口的地盤ノ歷史的發展ヲ研究ノ主タル對象トナシ、ソノ發展ニ於ケル特異性並ニ法則性ヲ學術的ニ明確ナラシメ、ソノ適地適業性ヲ判定シ、以テ東亞ニ於ケル綜合的產業配置政策ニ資ス。

右研究目的遂行ノタメ研究部門ヲ差當リ左ノ如ク分ツ

- 1 人口 民族
- 2 原始 產業
- 3 輕 工 業
- 4 化 學 工 業
- 5 重 工 業 (鑛業ヲ含ム)
- 6 燃料動力工業
- 7 交 通 業
- 8 商 業
- 9 金 融 業

二、統 計 部

統計部ハ統計調査及解析ニ關スル企畫立案ヲ行ヒ、且ツ計算、製表、製圖、統計編纂ノ任ニ當ル

三、資料部

資料部ハ圖書、資料、法令、約款及各種見本標本等ヲ蒐集シ之ヲ整理スルト共ニ、圖書目錄、雜誌論文目錄等ノ編成ニ當リ、尙之ニ附隨スル事業ヲ行フ

四、庶務部

庶務部ハ研究所ノ庶務會計出版等ニ關スル事務ヲ行フ

五、特殊問題研究室

特定問題又ハ特定地域ニツキ實證的研究ヲ行フタメ本學教授助教ヲシテ特殊問題研究室ヲ開設セシムルコトヲ得

六、特殊問題委員會

必要ニ應ジ特定問題ニツキ調査研究ヲ行フタメ學内或ハ學外ノ學識經驗者ニ依囑シ特殊問題委員會ヲ設ク

四、研究所刊行物

- 一、東亞經濟研究年報（本年報ハ東亞經濟ノ全貌ヲ知リ併セテ其ノ動向ヲ把握スルニ資セントスルモノニシテ、所員、研究員並ニ其他ノ本學教授、助教ヲ主ナル執筆者トシ、各自ノ研究方針ヲ重ンズルト共ニマタ可及的ニ包括的體系化ヲ試ム）
- 二、東亞經濟研究叢書（所員、研究員、特殊問題研究室、特殊問題委員會等ノ研究セル東亞經濟ニ關スル論稿ヲマトメテ不定期ニ刊行）
- 三、研究所月報（未定）
- 四、資料、彙報、講演集等

五、研究所ニ於ケル研究會

- イ、研究報告會（所員並ニ研究員等ノ研究報告、討議ノ會ニシテ每週一回開催）
- ロ、學内研究會（所員、研究員並ニ其他ノ本學教授、助教等ノ研究會ニシテ毎月一回開催）

- 八、商學會（本學教職員及如水會員ノ研究懇談會、月一回開催）
ニ、東亞經濟同攻會（學内外ノ東亞經濟研究者ヲ會員トシ月一回開催）
（附）國立學會講演會（本學ニ於ケル研究ノ對外發表講演會）

六、現地囑託員ニ關スル内規

- 一、東亞ニ於ケル如水會支部所在地ニ本所ノ現地囑託員ヲ置クコトアルベシ
二、現地囑託員ハナルベク如水會員ヲ以テシ、同地如水會支部長ノ推選ニヨリ之ヲ依囑スルモノトス
現地囑託員ハ當分ノ間一地方一名トス
三、現地囑託員ハ本所並ニ如水會支部ト連絡ヲ保チ圖書資料ノ購入蒐集其ノ他本所ノ依囑ニヨル研究並ニ事務ニ當ル
四、現地囑託員ガ本所ノ依囑ニヨル事業ノ遂行ニ必要トスル經費ハ本所之ヲ支辨ス

七、東亞經濟調査ノタメ學生生徒派遣ニ關スル内規（抄）

- 一、本學學生生徒ノ中ヨリ毎年數名ヲ派遣シテ大東亞諸國並ニ内外地ニ出張シ調査ヲナサシム
一、派遣ヲ許可セラレタル學生生徒ハ出張ニ至ルマデノ期間東亞經濟研究所ニ於テ研究部長ノ指示ニヨリ出張調査ノ準備研究ヲナスベシ
一、補助ヲ受ケタル學生生徒ハ其ノ出張調査ノ結果ヲマトメテ歸學後三ヶ月以内ニ報告書ヲ提出スルコトヲ要ス、該報告書ハ之ヲ印刷ニ付スルコトアルベシ

八、沿革

學長上田貞次郎ハ豫テ學内ニ研究所設置ヲ計畫中ナリシガ、適々故各務鎌吉氏ヨリ各務獎學基金ヲ寄付セラレタルニヨリ、其ノ一部ヲ以テ昭和十五年四月一日日本研究所ヲ開設シ、東亞ノ經濟的興隆ニ資スベキ科學的研究調査ヲ實施スルト共ニ學生教育上ノ效果ヲ舉グルコトヲ以テ目的トナシ、併セテ從來ノ調査部事業ヲモ繼承擴充スルコトトセリ。同年五月八日所長上田貞次郎ノ逝去ニヨリ高瀬莊太郎所長ニ就任ス。次イデ昭和十七年二月五日勅令第七十號ヲ以テ官立商業大學官制ノ一部改正ニヨリ本

研究所ニ關スル官制公布セラレ、我國最初ノ官立經濟研究所トシテ完成スルニ至レリ。
更ニ昭和十七年五月本研究事業資金ノ補助ヲ目的トスル東京商科大學獎學財團ノ設立ニヨリ、本研
究所事業ハ著シク之ヲ擴充シ得ルコトナレリ。

九、職 員 (昭和十七年五月二十日現在)

所 長	大學長兼教授	高瀬莊太郎
所 員	大學教授	井藤半彌
所 員	大學教授	山口茂
所 員	大學教授	赤松 要
所 員	大學教授	常盤敏太
所 員	大學教授	杉本榮一
所 員	大學教授	山中篤太郎
所 員	大學助教授	高橋泰藏

所 員	大學助教授	大平善梧
所 員	大學助教授	小田橋貞壽
所 員	大學助教授	板垣與一
所 員	大學助教授	阿部源一
所 員	大學助教授	内田直作
研究部長	所 員	赤松 要
統計部長	所 員	杉本榮一
資料部長	所 員	小田橋貞壽
庶務部長	囑 託	千葉多末
研究員	大學助手	泉 三義
研究員	大學助手	山田 勇
研究員	囑 託	石井一郎
研究員	囑 託	金原哲

(以下就職順)

統計部 資料部 資料部 資料部 統計部 庶務部 統計部 統計部 資料部 統計部 庶務部 統計部 資料部 資料部 統計部

小島榮二郎 齋藤のぶ 川崎和代 小山哲正 小島利 宇津木正 佐伯佐多子 毛利澤子 星信子 生田俊子 森芳子 森暉雄 水野嘉藏 柚野トヨ子

研究員 研究員 研究員 現地研究員 現地研究員 現地研究員

事務員

谷山整三 小林政一 樋口午郎 下條英男 眞銅政治 柳澤健太郎 (新) 京 樋口午郎 (漢) 口 眞銅政治 (青) 島 樋口午郎

資料部 資料部 統計部 庶務部 庶務部 庶務部

書記 書記 阿曾福圓 山口濱三郎

生田壽惠子 山口澄子 高橋ゆり子 黑森四男

263
933

製本控

933	函	262	號	年	月	日
東京商科大学 根本 研究所						
備考						

冊

933
262

